

## 区民まつりに出展しました

毎年恒例の「区民まつり」が、平成22年10月10日(日)に反町公園で開催され、区民協としては前回に続いて2回目の出展をいたしました。今回は第16期の1年目で、メンバーの顔ぶれも変わりましたが、それでも昨年の経験者の体験を元に、準備の段階から検討を行い、食品の販売はもとより、区民協のPR冊子及びアンケート調査の内容まで細かく具体的に見直しを図り、前年度の内容に勝るとも劣らない出来ばえと自負しております。



今回は前日からの雨が朝まで続いて大変なスタートになりましたが、それでも我々の熱意が通じたのか雨も上がって晴れ間ものぞき、盛況な「区民まつり」になりました。

女性委員が調理を担当し、男性委員が可愛いエプロンをして声をからして売り込みをし、更にOBの方々の応援も加わって、フランクフルト400本、ホットドック310食を売り上げることができました。

区民協を知っていただくために手作りの小冊子等の配布を行い、同時に区民協の認知度と部会活動についてのアンケート調査を実施し、多くの方々のご協力をいただきました。また、今回のブースを訪れて区民協に関心をもち、入会してくださった方もありました。雨と汗に濡れながら「区民まつり」に参加したことは、貴重な経験の一つとなりました。



## 第36回 区民会議交流会へ参加

横浜市には、神奈川区民協議会と同様に、他区にも住民が主体的に活動している区民会議があります。そんな区民会議どうしの交流を深め、今後の活動の源となるようにと、今年で36回目になる区民会議交流会が、平成22年11月26日(金)に波止場会館で開催しました。

「発信し、行動する区民会議」をテーマに、横浜市の7区(神奈川区、保土ケ谷区、旭区、金沢区、港北区、緑区、青葉区)が集まりました。

第1部は、活動報告を行いました。神奈川区は佐藤代表委員が、「地域のつどい」で出された区民のニーズを元に、部会活動を行っていることを発表しました。



第2部は、7区のグループに分かれ、ワールドカフェ方式にて意見交換を行いました。神奈川区のテーブルでは、区民会議から区民協議会へ名称が変わった経緯や、連合町内会との連携方法についてなど、質問を受けました。また、地域の意見をもとに活動テーマを決めたことについて、賞賛の言葉もいただきました。

いただいたご意見や、他区の事例などを参考にしながら、今期も区民協一同がんばっていきます。